

四日市コンビナート協力会社災害防止協議会等連絡協議会 第3回幹事会議事録

四日市コンビナート協力会社  
災害防止協議会等連絡協議会



開催日時 2026年(令和8年)1月22日(木) 10:00~  
場 所 四日市市三浜文化会館  
出席者 会 長 小林  
(敬称略) 副会長 満仲、森  
幹 事 吉松、原岡、佐藤、荻野  
監督署 平田安全衛生課長  
事務局 松田、豊田、匹田

議 事

1. 事業報告 (令和7年8月第2回幹事会以降)

- ① 9月11日 研修講演会 四日市文化会館 出席 54名
  - ・株式会社ENEOSマテリアル 環境保安部 保安防災課による講演  
「ENEOSマテリアル安全活動」
  - ・三重労働局 雇用環境・均等室による講演  
「職場におけるハラスメント防止対策及び関係法令の改正について」
  - ・四日市労働基準監督署による講演  
「労働基準法の基礎知識について」  
「労働安全衛生行政の動向等について」
- ② 10月21日 安全管理実践教育(KY)講習会 塩浜クラブ 受講 19名
- ③ 11月21日 優良施設見学会 ヤマザキマザック工作機械博物館 参加 20名
- ④ 2026年1月20日 安全管理実践教育(KY)講習会 塩浜クラブ 受講 10名

2. 研修講演会の実施日について

2025年度は四日市文化会館が改修工事のため9月に実施したが、2026年度は従前の11月上旬に戻すことが提案され幹事会で了承を得た。

具体的には、11月5日(木)を第一候補、11月12日(木)を予備日とし、今後事務局で会場確保などの準備を実施することとなった。

3. 2026年度事業計画(案) について

別紙1「2025年度事業実施計画(実勢)」 別紙2「2026年度事業計画案」について共有された。実施日について11月20日(金)日帰りの事務局案が提示され、全員が賛同した。

(防災協幹事会開催日程と外れている旨事前確認済)

4. 会則の改訂について

取引金融機関から会則に所在地を明記する様要請があったことから、別紙3「連絡協議会 会則(改訂2)」事務局案が提示され、6月総会で審議する内容として適当である旨全員が賛同した。

5. 交通費・日当・講師謝礼の支給基準（内規）の改訂について  
研修講演会で発表して頂いた方への交通費および謝礼を明記する内規について別紙 4「連絡協交通費・日当・講師謝礼の支給基準（内規）＜案＞」が事務局より提示され、幹事会で了承された。（2026年2月1日改訂）
6. 労働災害発生状況について  
別紙 5「労働災害事例 2025年 協力会社分」の11月分までのリストを速報として掲示した。12月分を加えた項目について、3月からの事故事例研究部会例集編纂に取り組む。
  - ・第2～4回の事故事例研究部会場所である三菱ガス化学研修所の行程案内は別途事務局よりご連絡する。
  - ・熱中症事例が5件あるが、対策はほぼ同様と考えられることから事故事例研究を一括して実施することが会長から提案された。具体的な進め方については、第1回事故事例研究部会で検討する。
7. 平田安全衛生課長からのご指導  
平田課長よりご指導がありました。
  - ① 令和7年の各12月末速報値での四日市署管内での労働災害発生状況
    - (ア) 死傷者数は 令和6年718名に対し、760名と増加している。  
12月の発災報告がこれからもあると3月末での確定件数は更に増える。
    - (イ) 型別では、転倒が234名と多く、墜落、転落は99名、動作の反動・無理な動作は127名となっている。墜落・転落の特徴として高所だけではなく低所や平地で起きている件数がかかなりある。
    - (ウ) 死亡災害は、令和5年2名、令和6年7名に対しては3名で昨年対比減である。
  - ② 労働安全衛生法及び作業環境測定法改正の主なポイントについて  
配布リーフレットに基づきご説明いただいた。令和8年中に段階的に施行されるため、適切な対応について要請がありました。
  - ③ 化学物質管理強調月間-2月  
まだまだ管理が適切でない事業所も散見されています。  
【慣れた頃こそ再確認 化学物質の扱い方】をスローガンに、リーフレット裏の「自主点検表」を活用してリスクアセスメント対象物を把握し、必要なリスク低減措置を図って下さい。  
(詳細は、配布リーフレット参照ください)
8. その他
  - ① 2026年度(令和8年度)役員・部会等割当表について内容どおりであることが確認された。
  - ② 職長・安全衛生責任者教育の渡邊講師が2025年度をもって勇退されることを共有した。その結果、職長・安全衛生責任者教育が2名体制となってしまうことから1名補充について森教育部会長より提案があった。なお幹事会で候補者発案がなかったことから事務局に今後の検討を一任することとなった。